ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

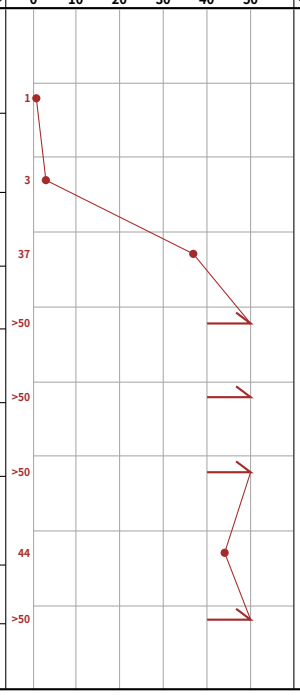
シートNO.

ボーリング名	No.3		調査位置							北　緯	37 ° 01 ' 36.0000 "
発 注 機 関	大田原土木事務所				調査期間	2008-12-03 ～ 2008-12-05				東　経	139 ° 56 ' 47.0000 "
調 査 業 者 名			主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者			ボーリング責任者	
孔 口 標 高	505.24 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具
総 掘 進 長	8.25 m								エンジン		ポ ン プ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1	503.59	1.65	1.65		埋土礫混じりシルト (Fl)	褐灰～暗茶灰～暗黄灰～褐		軟らかい	1.00mまで有機質シルト。上部ゴミ、腐植物混入多い。含水中～高位。 1.00mより砂混じり火山灰質粘性土。軽砂分混入多い。含水高位。粘性あり。	現世	
2	503.24	0.35	2.00		有機質シルト (MO)	黒～暗灰			旧表土。含水高位。軟らかい。		
3	501.99	1.25	3.25		ローム (Lm)	茶褐～黄褐			2.30mまで全体的に有機質呈す。含水高位。 2.30mより茶灰色呈し微砂分混入。含水高～中位。下部は高含水で軟質。		12/04 2.54
4	496.99	5.00	8.25		砂礫 (GS)	茶褐～青灰～淡緑灰	非常に密な		含水低位。 円礫～亜円礫主体。 礫φ30～120mm主体。最大φ200mm。 全体的に良く締まっている。 扇状地砂礫層。礫質は安山岩、流紋岩、凝灰岩類である。 7.25m～7.60m間細粒土分やや多い。	更新世	

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.00	0 / 20	1 / 21		1 / 41	1
1.41					
2.15	1 / 17	1 / 8	1 / 7	3 / 32	3
2.47					
3.15	4	10	23	37 / 30	37
3.45					
4.15	34	16 / 4		50 / 14	>50
4.29					
5.15	37	13 / 4		50 / 14	>50
5.29					
6.15	32	18 / 2		50 / 12	>50
6.27					
7.15	22	12	10	44 / 30	44
7.45					
8.15	50			50 / 10	>50
8.25					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						12/04
						12/05